

Press Release

**リバティ・ファブリックス約100年前のアーカイブ柄を、米沢ジャカードで現代に再現
東京ソワールが未来へつなぐ、特別なブラックフォーマルを9月18日発売**

レディースフォーマルを展開する東京ソワール（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小泉純一）は、フラワーモチーフをはじめとするプリントで世界的に知られる「リバティ・ファブリックス」のデザインを採用したブラックフォーマルとバッグを、2026年9月18日（金）より本州・四国の「イオン」「イオンスタイル」主要店舗のフォーマル売場にて発売します。英国リバティ社が保有する約5万点のコレクションの中から、約100年前のアーカイブ柄「ジェシカ」をもとに、ジャカード柄「シアンズローズ」を山形県米沢地方のジャカード織で再現しました。※プリント生地とジャカード織では名称が変わります。



【過去の文化を未来へ】

現在、大量生産・大量消費から、「永く使えるもの」「受け継げるもの」への価値観が広がっています。ファッションにおいても、流行だけではなく、素材・技術・デザインの背景そのものに価値を見いだす動きがあります。一方、日本のものづくりでは、産地の技術継承や職人不足など、優れた技術を次世代に残していくことが課題となっています。

【英国と日本の意匠をブラックフォーマルに】

東京ソワールは、1969年に創立し、ブラックフォーマルを単なる「喪服」ではなく、人生の大切な場面に寄り添い続ける装いとして作り続けてきました。

英国リバティ社は、1875年の創業から今日に至るまで、約5万点のアーカイブを保存し、過去のデザインを現在のものづくりのインスピレーションとして活用しています。

今回は、歴史あるリバティ・ファブリックスのアーカイブ柄に着目。

その意匠を、山形県米沢地方に200年以上受け継がれるジャカード織の技術によって現代に再現し、「古いものをそのまま復刻する」のではなく、現代のブラックフォーマルとして新たな価値を加えました。

英国の歴史あるアーカイブと、日本の産地技術を掛け合わせることで、過去の文化を「保存」するだけでなく、現代の商品として「継承」する取り組みとなります。



【理想の柄になるまで】

今回の生地づくりにあたり、約100年前のリバティ・ファブリックスのアーカイブの中から、リバティらしさを感じられるフラワーモチーフに着目しました。色彩で表現できないジャカード素材だからこそ、織りによって柄の陰影を美しく引き出せること、さらにモチーフの大きさや洋服にした時のバランスの良さもイメージしてセレクトしました。

最終的に候補を2柄まで絞り、米沢の産地で生地を製作。試作を重ねる中では、「柄癖」が出たり、目指していた陰影や光沢が十分に表現できなかったりと、様々な課題に直面しました。完成した生地を確認しながら修正し、思い描いた花の表情が織り上がるまで、試行錯誤しました。

その背景には、米沢が培ってきた高度なジャカード技術があります。経糸を高密度にすることで、単調なふくれジャカードではなく複雑な柄を表現。さらに、濃色に染まりやすい糸を使用し、風合いを引き出すため糸の撚り方にもこだわりました。

【受け継ぐのは、柄だけではない】

リバティ・ファブリックスの意匠を、現代の日本の織りの技術によって蘇らせました。そこには、英国リバティ社が紡いできた時間軸と、東京ソワールが長年培ってきたフォーマルウェアのものづくりを重ね合わせています。

東京ソワールは、フォーマルの技術を次の世代へつないでいき、時代に即した新しい文化を創ることを理念としています。

国内の産地や職人が持つ技術と、新しい価値観を掛け合わせ、日本のものづくりをつなげていきます。

【商品概要】

**<アンサンブル> ロングジャケット+ワンピース
9号～15号展開 100,000円（本体価格）110,000円（税込）**

- 華やかなシアンズローズ柄を主役に、衿の大きさや首元の開き、全体のシルエットをバランスよく設計。
- ジャケットのジャカード柄を引き立てるため、ワンピースは無地のトリアセテート素材を使用。
- ワンピースは、衿元の見返しにジャカード生地を使用し、「さりげないオシャレ」を演出。

**<バッグ>
23,000円（本体価格） 25,300円（税込）**

- バッグの顔となる被せ部分にジャカード生地を使用。ウエアとのトータルコーディネートができる。
- 仕立てに手間のかかる「フランスまち」を採用。エレガントで柔らかな丸みが特徴。
- 持ち手部分にはスポンジを内蔵してふっくらした立体感を出し、手なじみの良さと高級感を両立。

発売日：2026年9月18日（金）**取り扱い店舗：本州・四国の「イオン」「イオンスタイル」主要店舗
のフォーマル売場**